

(4) 授業実践

ア 指導と評価の計画 (全 4 時間)

次程	学習活動	活用する資料等	評価の観点				評価規準
			関	思	技	知	
第一次 (1時間扱い)	<b>単元の基軸となる問い：主権者としての在り方をどう考えるか？</b>						
	<p style="text-align: center; border: 1px solid black;"><b>問い：地方自治の特徴とは何だろうか？</b></p> <p>○地方自治に関する「団体自治」「住民自治」などの重要語句をワークシートに記入する。 ○直接請求に関する図を参考に住民の権利についてワークシートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方公共団体の機構図</li> <li>・直接請求に関する図</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>● ◎地方自治に関する語句の意味について理解している。(ワークシート)</li> <li>● ◎住民が直接地方自治に参加する制度があることを理解している。(ワークシート)</li> </ul>
第二次 (1時間扱い)	<b>問い：A市の問題は何だろうか？</b>						
	<p>○A市の現状についての調査を基に問題点を捉え、考えた活性化のための政策をワークシートに記入する。 ○考えた政策についてのプレゼンテーション資料を学習用PCで作成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A市の自治体の現状に関する資料</li> </ul>	●				<ul style="list-style-type: none"> <li>◎A市の現状について把握し、活性化するための政策を考えようとしている。(ワークシート)</li> <li>◎必要な情報を収集し、考えた政策をまとめている。(学習用PC)</li> </ul>
第三次 (1時間扱い) 本時	<b>問い：A市を活性化させるための政策とは何だろうか？</b>						
	<p>○A市を活性化させるための政策について、考えたことをグループ内で発表する。 ○グループでの意見を代表者が発表し、学級としてどの政策が最も効果的であるか投票する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒作成のプレゼンテーション資料</li> <li>・生徒作成のプレゼンテーション資料</li> </ul>		●			<ul style="list-style-type: none"> <li>◎考えた政策について根拠を基に表現している。(ワークシート、発言の内容)</li> <li>◎他者との合意形成を図り、効果的な政策は何か判断している。(発言の内容)</li> </ul>
第四次 (1時間扱い)	<b>問い：授業を振り返って、地方の政治に対する考えがどのように変わったか？</b>						
	<p>○政治についての質問に答え、発表する。  ○教科書の「選挙権を大切に」の内容から一票を投じる大切さを読み取る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問紙</li> <li>・年代別衆議院議員総選挙投票率の推移のグラフ</li> </ul>	●				<ul style="list-style-type: none"> <li>◎自分が住んでいる自治体の政治に主体的に参画する態度が求められていることに気付いている。(質問紙、発言の内容)</li> <li>◎主権者として、責任を持って選挙権を行使することの大切さを自覚している。(質問紙、発言の内容)</li> </ul>
課外	<p>○学級の代表者が直接、A市の市長に自分たちで考えた政策を報告する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者が作成した報告書</li> </ul>					

イ 本時の目標

- ・ A市を活性化させるための政策を考え、他者と議論する中で最も効果的と思われるものは何かを、根拠を基に判断し表現できるようにする。 【思考・判断・表現】

授業の実際

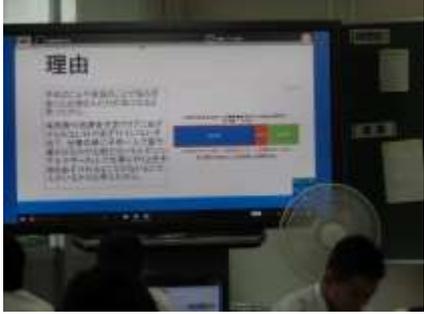
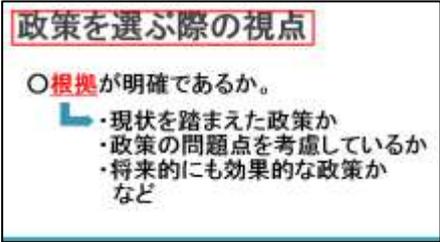
	学習活動	教師の指導・支援（◆）
導入 (5分)	<p>1 本時の目標を把握し、議論する際のルールを確認する。</p>	<p>◆本時の目標とグループで議論する際の注意事項について確認させた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>授業の目標</b></p> <p>「A市を活性化させるための政策」について議論し、最も効果的と思われる政策は何か考える。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>議論の際に気をつけること</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○批判厳禁</li> <li>○発表の際には<b>根拠</b>を示すこと</li> </ul> </div> </div>
<p>本時の問い「A市を活性化させるための政策とは何だろうか？」</p>		
展開 ① (20分)	<p>2 考えた政策について話し合う。</p> <p>①考えた政策についてグループ内で発表する。聞く側は発表の内容をワークシートに記入する。</p> 	<p>◆話し合う内容と時間配分について事前に示した。</p> <p>◆ワークシートにメモを取りながら話し合うよう伝えた。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「A市の現状は～だから、～という政策を考えたいよ」</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>グループの人が考えた政策を理由も含めて、生徒がメモをした。</p> </div> <p>◆各グループを机間指導して根拠を基に発表できているか確認した。</p> <p>◆根拠を基に政策を1つに絞る話し合いができているか確認した。</p>

①グループ協議用

※最も効果的と思われる政策の番号に口をつけて、下の欄に理由を記入してください。

テーマ【 〇〇〇 】 〇 〇 〇

発表者	政策番号	理由等
氏名	①	
氏名	②	
氏名	③	
氏名	④	

	学習活動	教師の指導・支援
<p>展開② (20分)</p>	<p>3 グループ内で1つに絞った政策についてグループの代表者が学級全体に発表する。</p> <p>4 聞く側は発表の内容をワークシートに記入する。</p> 	<p>◆グループの話合いで出た内容についても言及するよう指導した。</p> <p>学習用PCで作成した資料を電子黒板に投影した。</p> <p>メモした内容は、投票する際の判断材料にする。</p> <p>◆各グループの発表ごとに内容が深まるよう助言を行った。</p> 
<p>まとめ (5分)</p>	<p>5 各グループの発表の内容を踏まえ、最も効果的と思う政策に学習用PCを活用して投票する。</p> 	<p>◆根拠が明確であるものを選ぶよう指導した。</p> <p>「A市の活性化につながる政策はどれかな？」</p> <p>◆投票結果は次時に公表することを伝えた。</p> <p>◆本時は個人の考えをグループで共有し、グループの考えを学級で共有したが、次時は個人での振り返りを行うことを伝えた。</p> <p>●【思考・判断・表現】の評価・・・(ワークシート、発言の内容)</p> <p><u>(B)「おおむね満足できる」と評価される目安</u> 自分の意見を発表し、他者と議論する中で最も効果的な政策を判断している。</p> <p><u>(A)「十分満足できる」と評価される目安</u> (B)に加えて、政策を選ぶ際の視点を踏まえ根拠を明確にして判断している。</p> <p><u>(C)「努力を要する」の場合の支援</u> 自分の生活と関連付けて考えるよう促す。</p> 

ウ 授業後の取組

主権者教育で重要なことは「現実感」であると考えます。時間をかけて考えた政策を授業だけで完結させてしまうと生徒の主権者としての意欲が損なわれる可能性があるため、考えた政策を生徒代表がA市の市長に報告し、指導・助言をもらうことを計画し、実行しました（資料2、表2）。



資料2 市長への報告会の様子

表2 生徒が考えたA市を活性化させるための政策

種別	政策案	理由	留意点
〔観光〕	A 数多い人気のある店があったら・・・	・有名店の集客力で人が集まる。	・どこに誘致するか。 ・市がどのように関わるか。
	B 学生が泊まれる安い宿泊施設があったら・・・	・観光地の遠征時に利用できる。 ・市の施設利用の際の利便性が向上する。	・どこに建設するか。 ・予算、維持費 ・既存の施設との競合
〔交通〕	C 通学路に広い歩道があったら・・・	・交通事故に遭いやすくなった。 ・小さい子供や高齢者も安心して通ることが出来る。	・土地の問題 ・転居せざるを得ない世帯に迷惑がかかる。
	D 新幹線が利用できる駅があったら・・・	・活性化のためには交通の利便性が不可欠である。	・莫大な費用がかかる。
〔教育〕	E 無料で利用できる体育館があったら・・・	・競技場で使用できる。 ・スポーツを通じて交流できる。 ・災害時の避難所としての活用	・施設利用者のマナーの問題 ・費用がかかる。
	F 母親同士が交流したり、子どもを預けられる施設があったら・・・	・子育ての負担軽減 ・一人で留守番させる心配がなくなる。	・あらゆる世代が利用できるわけではない。
〔雇用〕	G 高速道路のインターチェンジがあったら・・・	・市に企業を誘致する際に交通網の整備は不可欠である。 ・他の世代も利用可能。	・土地と費用の問題 ・工事期間中の騒音問題
	H 食品工場があったら・・・	・業種の強から、若者だけでなく、女性、高齢者、障害者などの雇用につながる。	・どこに誘致するか。 ・誘致力がないと駅周辺で立ち行かなくなる。

資料2の写真は生徒代表2名が市長に対し、自分たちで考えた政策の報告を行っている様子です。市長は生徒が考えた8つの政策一つ一つについて、実現可能性を含めて回答されました。そして、「今日報告を受けた政策は、政策ではなく夢や希望という段階です。本当の政策とは限られた予算や人員のなかで、既存の施設や人材をどのように活用するか、と知恵を絞ることです」と述べられました。市長の指導・助言により、生徒は政治を身近に感じ、考え方も今後、更に現実的になっていくと思います。